

アクションプログラム

1 魅力ある公園緑地の整備 【達成状況区分 3】

【主な実施結果】

生田緑地の整備

- ・「生田緑地ビジョン」策定に向けた検討・調整の推進及び次年度以降の課題整理を実施しました。
- ・施設の連携によるイベントとして「生田緑地サマーミュージアム」を開催しました。
- ・初山地区等の整備については、周遊散策路（初山地区）の整備実施と中央広場の整備実施に向けた調整及び整備の着手を行い、計画に基づく用地取得として、約 1.35ha の用地取得を実施しました。
- ・遊園跡地の都市計画変更に向けた関係機関等との協議・調整を実施しました。
- ・ゴルフ場管理については、管理用通路、防球ネットほか整備工事などを行いました。
- ・ばら苑維持管理については、市民ボランティアと協働して苑内のバラを育成し、春と秋の年 2 回の一般開放を実施し、65,797 人の入場がありました。

等々力緑地の整備

- ・5 月に「等々力緑地再編整備基本方針」を策定、パブリックコメントを経て 2 月に「等々力緑地再編整備基本構想」を策定し、さらに「等々力緑地再編整備基本計画」の取りまとめに向けた検討を進めました。
- ・陸上競技場の補修改修を行いました。
- ・ふるさとの森第 2 期整備工事を実施しました。

富士見周辺地区の整備

- ・富士見周辺地区整備については、平成 21 年度末までに「富士見周辺地区整備実施計画」を策定する予定でしたが、平成 22 年度において、「第 3 期実行計画」策定作業があることから、同計画との検討、調整を行い、実行計画と整合を図った「整備実施計画」とすることといたしました。
- ・平成 21 年度は、市民や利用団体等からの御意見を踏まえ、さまざまな技術的な検証等を行い、「富士見周辺地区整備基本計画に基づく整備の考え方（改訂版）」として取りまとめを行いました。

都市計画公園・緑地の見直し

- ・7 月環境審議会に諮問し、緑と公園部会にて審議、10/7 開催、12/7 開催、1/20 開催、2/18 環境審議会開催、答申について審議、2/25 に長期未整備公園・緑地のあり方について答申を受けました。

【課題と今後の取組】

- ・引き続き、個性と魅力ある公園緑地の整備を推進するとともに、市民の利便性の向上や経営的な視点から緑地全体の効果的・効率的な管理運営体制の構築を図ります。
- ・「富士見周辺地区整備実施計画」については、平成 22 年度の「第 3 期実行計画」策定過程の中で検討、調整を行います。

2 協働による身近な緑環境整備 【達成状況区分 3】

【主な実施結果】

市民との協働による公園の維持管理

- ・区町連会議、地元町会説明会、電話連絡及びアンケート調査で約 450 団体に対し、折衝や移行確認をした結果、前年度とほぼ同数の 76 公園について、協定締結しました。

身近な公園緑地の適正な維持管理

- ・公園緑地の剪定・刈込、除草・清掃、害虫駆除等の適正な維持管理を推進し、自然環境の保全や景観を向上させるとともに、安全で快適な場として利用者の方々に供用を行いました。
- ・遊具等の公園施設の補修対応を実施し、利用者の安全性を確保するとともに、施設の長寿命化を図りました。
- ・大規模な公園施設の改修計画を策定し、次年度の財源確保が図れました。

アクションプログラム

御幸公園のリフレッシュ

- ・管理棟・トイレの整備を実施するとともに、国のスーパー堤防整備事業実施にあたっての地元説明会の開催や協定書の締結など、事業推進のための取組を行いました。

市民との協働による緑化の推進

- ・川崎市公園緑地協会と連携して緑化推進事業を実施し、屋上緑化等助成を 17 箇所に実施し、約 900 m²が緑化されたほか本庁舎の屋上緑化をHPで紹介するなど普及のために情報を発信しました。また、「かわさき緑のカーテン大作戦」により、公共施設 120 箇所での緑のカーテンづくりを実施しました。緑の市民講座は、「花と緑のまちづくり講座」「里山ボランティア育成講座」の 2 講座を実施し、合計 56 名の参加を得ました。また、市民活動支援については、活動助成を行ったほか、新たに 5 団体の登録を行いました。

市民緑化運動の推進

- ・万福寺さとやま公園での市民（地元公園管理団体）の主体的な取組や企業参画を得ての植樹祭が実施できたほか、市民団体、市内事業者の独自の植樹などを促すことにより、合計で約 1 万本、累計で 5 万本の植樹を実施しました。また、全国植樹祭生田緑地サテライト会場の植樹祭実施計画の策定、関係機関への協力要請、式典会場の基盤整理を実施しました。

緑化推進重点地区の整備

- ・リーディング事業として溝口緑地の緑化整備工事を行いました。
- ・パンフレットの配布などにより、溝口駅周辺地区緑化推進重点地区計画の普及広報を行いました。

街路樹等の適正な維持管理

- ・街路樹の適正な維持管理を推進し、道路の安全空間の確保や景観の向上を図りました。
- ・尻手黒川線等の街路樹の樹形管理・交通障害対策を実施し、支障があった交通環境改善を図りました。
- ・鷺沼線等の樹木診断を実施し、街路樹の適正な生育管理の向上を図りました。
- ・富士見鶴見駅線の街路樹の撤去・更新整備を実施し、事故防止と景観の向上を図りました。

【課題と今後の取組】

- ・市民との協働による公園の維持管理については、区ごとの連絡会議等において説明を行い継続して取り組みます。また、市民緑化運動の推進については、市民・企業との協働による植樹を継続して取り組みます。

3 緑地保全施策の推進 【達成状況区分 3】

【主な実施結果】

緑地保全の推進

- ・特別緑地保全地区の指定は約 5.9ha、緑の保全地域の指定は約 0.9ha で、合計 6.8ha となり目標の 6.0ha を上回りました。また、その種地となる緑地保全協定地の拡大は 0.8ha の指定を行いました。
- ・緑地保全地区の用地買収を約 5.4ha 行い、寄付が 0.4ha され、合計 5.8ha となり目標の 3.0ha を大きく上回りました。
- ・緑地保全施策推進のため樹林地地権者に対し、個別訪問による説明を行いました。

保全緑地の適切な維持管理

- ・生田榎戸及び柿生の里特別緑地保全 2 地区の保全管理計画を策定しました。
- ・保全管理計画に基づき、緑レンジャー等との連携を図りながら、市民活動等の支援やハザード調査を行う等、市民協働による緑地保全管理を推進しています。

アクションプログラム

黒川地区農業公園の整備

- ・農に親しみグリーン・ツーリズム推進の拠点となる農業情報センター主催のイベント等を拡充することができました。また、将来の環境整備について課題整理を行いました。

農ある風景の保全

- ・里地里山ミュージアム構想 黒川地区：基本計画図を作成しました。岡上・早野地区：今後の回遊性を考慮しマップを作成しました。
- ・多摩三浦丘陵広域連携 12自治体との会議を4回開催し、シンポジウムも開催しました。

【課題と今後の取組】

- ・引き続き、「特別緑地保全地区の用地取得」、「特別緑地保全地区及び緑の保全地域の指定」及び「緑地保全協定」に取り組めます。

4 臨海部における緑の環境整備 【達成状況区分 3】

【主な実施結果】

東扇島東公園の開園と適正な維持管理

- ・港湾緑地の適正な維持管理に取り組むとともに、利用者ニーズに対応するため、アンケート調査を実施しました。

臨海部緑の環境整備

- ・臨海部の実情把握のため庁内関係部署と打合せを行い、庁内検討会議を開催しました。また、みどりの事業所推進協議会との協働で事業者の意向の把握に努め、各地区ごとの課題を抽出して緑化構想（地区別）としてまとめるとともに、「かわさき臨海のもりづくり」共同アピールに向けた検討を進めました。

【課題と今後の取組】

- ・臨海部における効果的な緑環境の向上に向けて、「かわさき臨海のもりづくり」の実現に向けた協議・調整に取り組めます。

施 策 計 画

施 策 計 画 名	現 状	目 標				
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降	
アクションプログラム：魅力ある公園緑地の整備【達成状況区分：3＊】						
○ 生田緑地の整備 優れた自然環境の中にレクリエーション施設や野外博物館等が立地する多様な総合公園としての整備を進めるとともに、市民の利便性の向上や経営的な視点から緑地全体の効果的・効率的な管理運営体制の構築を図ります。	（緑地整備） ●園路・広場等整備	●生田緑地整備計画の検討	→	●生田緑地整備計画の策定	●生田緑地整備計画に基づく用地取得・施設整備	
		●東口・西口案内サイン整備 ●東口・初山地区広場整備		●青少年科学館改築にあわせた中央地区(噴水広場)整備開始	●中央地区(中央広場(現 噴水広場))整備完了	
	（効果的・効率的な管理運営の推進） ●生田緑地の効果的・効率的な管理運営基本指針の策定	●基本指針に基づき、緑地内文化施設の管理業務の一部統合	●基本指針に基づき、緑地内施設の管理業務の一部統合		●緑地内施設の管理業務の統合及び管理運営体制の構築に向けた調整	●専修大学方面からの園路整備
	●緑地の魅力を広めるための統一パンフレットの発行	●緑地の魅力を広めるための広報及び施設の連携によるイベントの実施		→		事業推進
	●利便性の向上に向けた関係部局との調整(青少年科学館改築等)	●利便性の向上に向けた関係事業の調査・検討(駐車場・サイン整備等)		→		
		●緑地の魅力を北部のまちづくりに活かすための調査・調整	●緑地の魅力を北部のまちづくりに活かすための基本的考え方の構築	→		
	（ゴルフ場管理） ●ゴルフ場の運営	●ゴルフ場の運営 ●生田緑地の管理運営に連携したクラブハウスの設計	→	●クラブハウス建設・完成 ●クラブハウス完成に伴うゴルフ場運営の充実	管理運営の充実	
	（ばら苑維持管理） ●バラ管理・来場者サービスの充実	●バラ管理・来場者サービスの充実 ●ばら苑ガーデンコーナーの新設	→	●ばら苑内のバリアフリー対応工事 ●ばら苑施設老朽化対策工事	事業推進	
	●年間入場者数7万人	●年間入場者数7万人	→			
	（遊園跡地の調整） ●土地利用基本計画策定 ●都市計画決定区域の変更準備、図書作成	●都市計画区域の変更 ●提供公園等の整備調整	●ガーデンゾーンにおける市民開放の調整 ●ばら苑と関連地との利用連携の調整	→ →	●ガーデンゾーン の市民開放 事業推進	

施 策 計 画

施 策 計 画 名	現 状	目 標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降
2008年度 実施結果	達成状況区分 3	・東口・西口案内サイン、東口・初山地区園路広場を整備を実施しました。 ・利便性の向上に向けた関係事業の調査・検討を行い、「生田緑地運営の基本的考え方」として取りまとめるとともに、この考え方に基づき、緑地内文化施設の管理業務を一部統合しました。 ・緑地の魅力を広めるための広報として「生田緑地カレンダー」などを作成し、施設の連携によるイベントとして「生田緑地サマーナイトミュージアム」を開催しました。 ・クラブハウス屋根漏水補修工事、カート道路補修工事、防球フェンス他整備工事を実施しました。 ・市民ボランティアと協働して苑内のバラを育成し、春と秋の年2回の一般開放を実施し、79,911人の入場がありました。 ・向ヶ丘遊園跡地について事業者と調整を図り、緑の保全と市民開放に向けた取組を行いました。			
2009年度 実施結果	達成状況区分 3*	・「生田緑地ビジョン」策定に向けた検討・調整の推進及び次年度以降の課題整理を実施しました。 ・施設の連携によるイベントとして「生田緑地サマーミュージアム」を開催しました。 ・新たな管理運営体制の構築に向けた取組の一環として、北部公園事務所の跡地を拠点とした生田緑地維持管理事業の平成22年度からの民間委託を実現しました。 ・初山地区等の整備については、周遊散策路(初山地区)の整備実施と中央広場の整備実施に向けた調整及び整備の着手を行い、計画に基づく用地取得として、約1.31haの用地取得を実施しました。 ・民間地権者・関係機関等と連携して、都市計画区域(遊園跡地)の変更にに向けた協議・調整を実施しました。 ・クラブハウス建て替えについて、工事費縮減に向けた新たな検討を行うことになったため、建設を延期しました。また、管理用通路、防球ネットほか整備工事などを行いました。 ・市民ボランティアと協働して苑内のバラを育成し、春と秋の年2回一般開放を実施しました(ばら苑入場者数65,797人)。 【環境等の変化・課題等】 ・開発計画・内容の見直しに伴う変更 ・生田緑地の計画的な再編整備及び周辺のまちづくりと連動した取組の必要性の増大 【変更後の目標】 ・生田緑地ビジョンの策定に向けた取組 ・生田緑地関連施策・事業の調整・推進 ・都市計画区域(遊園跡地)の変更にに向けた協議・調整			
○ 等々力緑地の整備 小杉地区のまちづくりを踏まえながら、スポーツ・レクリエーションの拠点及び災害時の広域避難場所としての整備を進めます。		●災害時の活動拠点の一つとなる中央グラウンドの整備 ●陸上競技場の第1種公認に向けた整備	●全市的な視点や小杉地区全体のまちづくりを踏まえた等々力緑地のあり方検討 ●陸上競技場メインスタンド改修の検討 ●フロンターレ支援としての陸上競技場等維持補修 ●多目的広場(中央グラウンド)等の整備	●園路広場整備	●全市的な視点や小杉地区全体のまちづくりを踏まえた等々力緑地公園施設の再配置 事業推進 事業推進 事業推進
2008年度 実施結果	達成状況区分 3	等々力緑地再編整備の基本方針を取りまとめました。 多目的広場、園路広場の整備や陸上競技場等の維持補修工事を実施しました。			
2009年度 実施結果	達成状況区分 3	・5月に「等々力緑地再編整備基本方針」を策定、パブリックコメントを経て2月に「等々力緑地再編整備基本構想」を策定し、さらに、「等々力緑地再編整備基本計画」取りまとめに向けた検討を進めました。 ・川崎フロンターレと協議・調整を行い、支援事業としての陸上競技場等の補修改修の実施しました。 ・ふるさとの森第2期整備工事を実施しました。			

施 策 計 画

施 策 計 画 名	現 状	目 標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降
○ 富士見周辺地区の整備 富士見公園及び周辺市民利用施設の総合的・一体的な整備を推進します。	(富士見周辺地区整備) ●整備基本計画の策定 (富士見公園整備) ●再整備に向けた整備基本構想の策定	●整備実施計画策定に向けた調査・調整 ●再整備に向けた整備基本構想の策定	●整備実施計画の策定 ●計画に基づく取組の推進 ①早期整備が 必要な施設の基本計画の策定 ●再整備に向けた整備基本計画の策定	●計画に基づく取組の推進 ①早期整備が 必要な施設の基本設計・詳細設計 ●再整備に向けた実施設計	事業推進 ●計画に基づく整備推進
2008年度 実施結果	達成状況区分 3	・富士見周辺地区整備推進会議を開催する等、整備実施計画策定に向けた調査・調整を行いました。 ・再整備に向けた基本構想として、富士見公園整備の基本的な考え方を整理しました。			
2009年度 実施結果	達成状況区分 4	・富士見周辺地区整備については、平成20年3月に策定した「富士見周辺地区整備基本計画」に基づき、平成21年度末までに「富士見周辺地区整備実施計画」を策定することとし、市民や利用団体等から御意見を伺いながら進めてきました。御意見を踏まえ、様々な技術的な検証等を行った結果、事業の推進には、「富士見周辺地区整備基本計画」で示した考え方を、改めて「富士見周辺地区整備基本計画に基づく整備の考え方」として取りまとめ、広く市民の皆様から御意見を伺いながら進めることが適切であると考え、今年度は、御意見を反映した「富士見周辺地区整備基本計画に基づく整備の考え方(改訂版)」を策定しました。 なお、富士見公園の整備も含めた「富士見周辺地区整備実施計画」については、平成22年度に「第3期実行計画」の策定を行うことから、その中で検討、調整等を行い、実施計画を策定いたします。 ・整備実施計画策定に向けての取組と連携しながら、公園の整備イメージを「整備の考え方(改訂版)」の中で示しました。 なお、富士見公園の整備も含めた「整備実施計画」については、平成22年度に「第3期実行計画」の策定を行うことから、その中で検討、調整等を行い、実施計画を策定いたします。			
○ 都市計画公園・緑地の見直し 一部の都市計画公園・緑地について、その地域ニーズや社会情勢等を踏まえながら、都市計画の見直しを行います。	●都市計画公園・緑地の見直しに向けた取組	●都市計画公園・緑地の見直しの基本的考え方の整理・検討	●都市計画公園・緑地の見直しについて環境審議会に諮問	●都市計画公園・緑地の見直し方針策定 ●方針に基づく都市計画公園・緑地の都市計画見直し準備	●都市計画公園・緑地の見直し
2008年度 実施結果	達成状況区分 3	・見直し対象の公園緑地について現況の把握や先進事例のある都市のヒアリングを実施しました。それらを踏まえ、検討会議を設置し、課題点の共有化をはかり、基本的な考え方の整理や検討を行いました。			
2009年度 実施結果	達成状況区分 3	・7月環境審議会に諮問し、緑と公園部会にて審議、10/7開催、12/7開催、1/20開催、2/18環境審議会開催、答申について審議、2月25日に長期未整備公園・緑地のあり方について答申を受けました。 ・見直し課題を検討を行い、対象公園・緑地の事業実施状況の把握をしました。 ・庁内検討会議を2回開催し、関係部局との調整を図りました。			

施 策 計 画

施 策 計 画 名	現 状	目 標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降
アクションプログラム：協働による身近な緑環境整備【達成状況区分：3】					
○ 市民との協働による公園の維持管理 市民にとって身近な街区公園の地元管理に向け、各公園に管理運営協議会を組織し、その活動を促進します。	●管理運営協議会の設置(計300公園)	●新たに100公園に管理運営協議会を設置(計400公園)	●新規100公園(計500公園)	●新規100公園(計600公園)	●全街区公園(約800公園)で管理運営協議会を設置
2008年度 実施結果	達成状況区分 4	・設立を見送ったケースが多くありましたが、区ごとの連絡会議や地元町会の会合等個別に赴き説明を行い、管理運営協議会設立についての理解を深めたため、平成19年度の75公園に対し、平成20年度は74公園とほぼ同数となりました。			
2009年度 実施結果	達成状況区分 4	・区町連合会、地元町会説明会、電話連絡及びアンケート調査で約450団体に対し、折衝や移行確認を行い、管理運営協議会設立の理解を深めましたが、地元町会での意見の輻輳や、少子高齢化による将来への不安などで協定に至らないケースが多かったため前年度とほぼ同数の76公園の協定となりました。			
○ 身近な公園緑地の適正な維持管理 多様な市民要望に適切に対応し、市民の安全かつ快適な公園の維持管理の充実を図るとともに、老朽化した施設の改修を行います。	●公園緑地の適正な維持管理の推進	●公園緑地の維持管理の充実	●公園プールのリフレッシュ ①大師公園プール ●富士見公園テニスコート人工芝張替え ●公園遊具の安全点検	●等々力緑地テニスコート人工芝張替え	事業推進
2008年度 実施結果	達成状況区分 3	・公園緑地の剪定・刈込、除草・清掃、害虫駆除等の適正な維持管理を推進し、自然環境の保全や景観を向上させるとともに、安全で快適な場として利用者の方々に供用を行いました。 ・遊具等の公園施設の補修対応を実施し、利用者の安全性を確保するとともに、施設の長寿命化を図りました。			
2009年度 実施結果	達成状況区分 3	・公園緑地の適正な維持管理を推進し、自然環境の保全や景観を向上させるとともに、安全で快適な場として利用者の方々に供用を行いました。 ・遊具等の公園施設の補修対応を実施し、利用者安全性の確保や施設の長寿命化を図りました。 ・大規模な公園施設の改修計画を策定し、次年度の財源確保が図れました。 ・中原平和公園等の改修工事により、効果的に施設の更新が図れました。			
○ 御幸公園のリフレッシュ リフレッシュパーク事業として、市民参画により、御幸公園を新たな公園に再生します。	●御幸公園整備	●御幸公園整備(御幸球場照明塔など) ●御幸公園及びその周辺における国のスーパー堤防整備事業に対応した取組		●御幸公園のスーパー堤防整備区域の設計	●整備完成(2011年度)
2008年度 実施結果	達成状況区分 3	・野球場周辺の園路広場の整備実施と照明塔の改築工事に着手しました。 ・スーパー堤防整備事業に伴い、移設が必要となる公園管理棟及びトイレの改築設計を行いました。			
2009年度 実施結果	達成状況区分 3	・管理棟・トイレの整備を実施するとともに、国のスーパー堤防整備事業実施にあたっての地元説明会の開催や協定書の締結など、事業推進のための取組を行いました。			

施 策 計 画

施 策 計 画 名	現 状	目 標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降
○ 市民との協働による緑化の推進 屋上・壁面緑化への助成制度の運用や、緑の活動団体に対する支援により、緑の確保と同時に市民の緑化推進に向けた啓発を促します。	●屋上・壁面緑化の推進 ●緑の市民講座の開催等、緑の人材育成及び市民活動支援等の実施 ●かわさきガーデナーの認定(累計144名) ●公共施設の屋上・壁面緑化の実施による緑化技術の広報	●屋上・壁面緑化の推進 ●緑の市民講座の開催等、緑の人材育成及び市民活動支援等の実施 ●かわさきガーデナーの認定(累計160名) ●公共施設の屋上・壁面緑化の実施による緑化技術の広報	●累計175名	●累計190名	事業推進
2008年度 実施結果	達成状況区分 3	・屋上・壁面緑化推進のため助成を行いました。壁面緑化については、「かわさき緑のカーテン大作戦」を実施し、公共施設45施設での緑のカーテン設置や情報発信を行いました。 ・人材育成・交流をめざして花と緑のまちづくり講座、里山ボランティア育成講座を開催しました。 ・かわさきガーデナーの認定試験を実施しました。かわさきガーデナーは累計152名となりました。 ・本庁舎の屋上・壁面緑化を維持管理し、その情報を整理してHPに掲載しました。			
2009年度 実施結果	達成状況区分 3	・(財)川崎市公園緑地協会と連携して緑化推進事業を実施し、屋上緑化等助成を17箇所に実施し、約900㎡が緑化されたほか本庁舎の屋上緑化をHPで紹介するなど普及のために情報を発信しました。また、「かわさき緑のカーテン大作戦」により、公共施設120箇所での緑のカーテン作りを実施しました。 ・緑の市民講座は、「花と緑のまちづくり講座」「里山ボランティア育成講座」の2講座を実施し、合計56名の参加を得ました。また、市民活動支援については、活動助成を行ったほか、新たに5団体の登録を行いました。			
○ 市民緑化運動の推進 10万本植樹(市民が進める森づくり)の実施により、市民一人ひとりの手による緑化運動を推進します。	●市民・企業との協働による1万本植樹の実施(累計3万本)	●市民・企業との協働による1万本植樹の実施			●2014年度までに10万本を植樹
2008年度 実施結果	達成状況区分 3	・市民・企業との協働により約1万本の植樹を実施しました(累計約4万本)。また、普及啓発のため市主催の植樹イベントを麻生区高石で開催しました。			
2009年度 実施結果	達成状況区分 3	・万福寺さとやま公園において、市民主導、参加型の植樹祭を実施し、約350名の参加を得ました。 ・思い出記念樹の配布や広報を行い、市民による緑化運動の普及を図り、身近な生活空間での植樹を促進しました。 ・川崎市みどりの事業所推進協議会への呼びかけによる事業所敷地内植樹の促進により5,000本を超える植樹が実施されました。 ・全国植樹祭生田緑地サテライト会場の植樹祭実施計画の策定、関係機関への協力要請、式典会場の基盤整理を実施しました。			

施 策 計 画

施 策 計 画 名	現 状	目 標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降
○ 緑化推進重点地区の整備 市民・事業者との協働により策定した緑化推進重点地区計画に基づいた緑化を行い、花と緑を基調とした魅力あるまちづくりを推進します。	●川崎駅周辺地区、小杉地区及び新百合丘地区におけるリーディング事業の実施 ●溝口駅周辺地区緑化推進重点地区計画の策定	●溝口駅周辺地区緑化推進重点地区計画の公表・施行 ●溝口駅周辺地区緑化推進重点地区計画に基づくリーディング事業の実施			●新たな緑化推進重点地区計画の公表・施行 ●新たな緑化推進重点地区計画に基づくリーディング事業の実施
2008年度 実施結果	達成状況区分 3	・溝口駅周辺地区緑化推進重点地区計画の公表・施行を行いました。 ・リーディング事業として高津区役所庁舎の壁面緑化の整備を行いました。			
2009年度 実施結果	達成状況区分 3	・リーディング事業である、溝口緑地の緑化整備工事について、関係課との調整を実施し、整備を行いました。 ・パンフレットの配布などにより、溝口駅周辺地区緑化推進重点地区計画の普及広報を行いました。			
○ 街路樹等の適正な維持管理 交通障害の緩和、街路景観の向上など、良好な都市環境を確保するため、維持管理の充実を図ります。	●街路樹の適正な維持管理の推進	●街路樹の維持管理の充実 ●街路樹の樹形管理・交通障害対策(府中街道・尻手黒川線等) ●危険な街路樹の撤去・更新			事業推進
2008年度 実施結果	達成状況区分 3	・街路樹の適正な維持管理を推進し、道路の安全空間の確保や景観の向上を図りました。 ・尻手黒川線において街路樹の樹形管理・交通障害対策を実施し、支障があった交通環境の改善を図りました。 ・皇月橋水江線及び富士見鶴見駅線において街路樹の撤去・更新を実施し、事故防止と景観の向上を図りました。			
2009年度 実施結果	達成状況区分 3	・街路樹の適正な維持管理を推進し、道路の安全空間の確保や景観の向上を図りました。 ・尻手黒川線等の街路樹の樹形管理・交通障害対策を実施し、交通環境改善を図りました。 ・鷺沼線等の樹木診断を実施し、街路樹の適正な生育管理の向上を図りました。 ・富士見鶴見駅線の街路樹の撤去・更新整備を実施し、事故防止と景観の向上を図りました。			
アクションプログラム：緑地保全施策の推進【達成状況区分：3】					
○ 緑地保全の推進 多摩丘陵に残された樹林地等の保全施策を積極的に進めます。	●特別緑地保全地区の計画的な用地取得 ●特別緑地保全地区及び緑の保全地域の指定	●特別緑地保全地区の計画的な用地取得(3ha) ●特別緑地保全地区及び緑の保全地域の指定(6ha) ●緑地保全協定の締結推進			事業推進
2008年度 実施結果	達成状況区分 2	・特別緑地保全地区の用地を5.7ha取得するとともに、特別緑地保全地区及び緑の保全地域として新たに14.5ha指定しました。また、緑地保全協定の締結を推進し、緑地保全協定地を1.0ha拡大しました。			
2009年度 実施結果	達成状況区分 2	・特別緑地保全地区の指定は約5.9ha、緑の保全地域の指定は約0.9haで、合計6.8haとなり目標の6.0haを上回りました。また、その種地となる緑地保全協定地の拡大は0.8haの指定を行いました。 ・緑地保全地区の用地買収を約5.4ha行い、寄付が0.4haされ、合計5.8haとなり目標の3.0haを大きく上回りました。 ・緑地保全施策推進のため樹林地地権者に対し、個別訪問による説明を行いました。			

施 策 計 画

施 策 計 画 名	現 状	目 標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降
○ 保全緑地の適切な維持管理 保全施策の講じられた樹林地等について、植生の管理及び安全の観点も含めて、市民協働により適切に維持管理を行います。	● 保全管理計画の策定 ● 市民協働による緑地保全管理の推進	● 保全管理計画の策定(新規2地区) ● 市民協働による緑地保全管理の推進	● 新規2地区	● 新規2地区	事業推進
2008年度 実施結果	達成状況区分 3	・菅生ヶ丘及び王禅寺源左衛門特別緑地保全2地区の保全管理計画を策定しました。 ・保全管理計画に基づき、緑レンジャー等との連携を図りながら、市民活動等の支援やハザード調査を行う等、市民協働による緑地保全管理を推進しています。			
2009年度 実施結果	達成状況区分 3	・生田榎戸及び柿生の里特別緑地保全2地区の保全管理計画書を策定しました。 ・保全管理計画に基づき、緑レンジャー等との連携を図りながら、市民活動等の支援やハザード調査を行う等、市民協働による緑地保全管理を推進しています。			
○ 黒川地区農業公園の整備 麻生区黒川地区の地域資源を活かして都市農業及び地域の振興を図るとともに、市民の「農」とのふれあいの場を提供します。	● 黒川地区大型農産物直売所の開設に向けた協議・調整 ● 明治大学実習農場建設に向けた協議・調整	● 黒川地区大型農産物直売所の開設及び直売所を活用した市民交流型農業の実施 ● 明治大学実習農場建設に向けた協議・調整 ● 明治大学、地元農業者、行政との協調による連携事業の実施 ①「(仮称)黒川地区地域連携協議会」の設置 ②黒川ブランドの開発着手	● 黒川地区大型農産物直売所を活用した市民交流型農業の推進 ● 明治大学、地元農業者、行政との協調による連携事業の推進 ①「(仮称)黒川地区地域連携協議会」の運営 ②黒川ブランドの開発	● 明治大学実習農場建設に向けた協議・調整(実施設計) ● 明坪地区用地取得	事業推進 ● 完成(2012年度)
2008年度 実施結果	達成状況区分 3	・セレスモス(直売所)農業情報センターについては7月1日に開設し、講習会等の事業も運営計画通り順調に実施することができました。 ・明治大学との連携協議会を設置し、次年度に向けて専門部会を設置し具体的な連携課題について調査・研究を行うことが了承されました。			
2009年度 実施結果	達成状況区分 3	・グリーンツーリズム推進による農業の振興のためグリーンツーリズム実践活動を9回実施するとともに、課題整理のため推進課題調査を実施し、作業部会(2回開催)、作業部会調整会議(3回開催)を通じて報告書を取りまとめました。 ・連絡協議会を開催して連携課題を研究する専門部会を設置することを決定し、関係者との調整により黒川農場開設について必要な許可を得ました。 ・農業情報センターとの定期協議(6回開催)を重ね、グリーンツーリズム講習会2回(前年比1回増)、料理講習会16回(前年比8回増)、市民農園講習会を新規開催するなど、前年度より質・量を向上させる運営を行いました。			

施策計画

施策計画名	現 状	目 標			
		2008(平成20)年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降
○ 農ある風景の保全 本市北部の市街化調整区域内における樹林地を農業振興施策と連携して保全します。また、早野地区農業振興地域の活性化に向けて、体験型農園の普及や農地の流動化などの取組を進めます。	●里地・里山ミュージアムプランの3地区(黒川・岡上・早野)における関係者との調整 ●早野地区農業振興地域の活性化に向けた庁内検討会議の設置	●地元・JA・里山ボランティア等と連携した遊歩道計画の検討及びイメージアップにつながる広報活動等 ●学識経験者等からなる「(仮称)早野地区農業振興地域活性化検討委員会」の設置・地元調整	●農業者・里山ボランティア等との協働の推進 ●学識経験者等からなる「(仮称)早野地区農業振興地域活性化検討委員会」の運営・地元調整	→	事業推進
2008年度 実施結果	達成状況区分 3	・地元・JA・里山ボランティアなどとの対話を通して、黒川地区をリーディングとして地区内の特別緑地保全地区内休耕田エリアの再生・活用などを盛り込んだ基本構想図を作成し、地域の散策経路についても検討しました。また、早野、岡上地区についても取組の方向性を検討しました。			
2009年度 実施結果	達成状況区分 3	・里地里山ミュージアム構想 黒川地区について、現地調査の結果を踏まえ地元農業者と検討を行い、基本計画図を作成しました。岡上、早野地区については今後の回遊性を考慮しマップを作成しました。 ・多摩三浦丘陵広域連携 関係12自治体との会議を4回開催しました。8月1日に「多摩・三浦丘陵の緑と水をつなぐシンポジウム」を開催しました。また、情報発信として多摩・三浦丘陵広域トレイルを中心とした多摩・三浦丘陵広域連携会議のHPを作成しました。			

アクションプログラム：臨海部における緑の環境整備【達成状況区分：3】

○ 東扇島東公園の開園と適正な維持管理 （基幹的広域防災拠点の開設） 本市初の人工海浜等を有する東扇島東公園を開園するとともに、開園を契機により魅力のある港湾緑地・親水空間の形成を図ります。		●東扇島東公園の開園 （基幹的広域防災拠点の開設） ●港湾緑地等の適正な維持管理	→	事業推進	
2008年度 実施結果	達成状況区分 3	・東扇島東公園を開園するとともに、作成した港湾緑地の運用マニュアルに基づき、管理運営を適正に実施しました。 ・港湾緑地の効率的・効果的な維持管理を行うとともに、利用者ニーズを把握し、対策を検討・実施しました。			
2009年度 実施結果	達成状況区分 3	・港湾緑地の適正な維持管理に取り組むとともに、利用者ニーズに対応するため、アンケート調査を実施しました。 ・東公園の維持管理を適切に行うため、公園事務所でも市民要望や苦情等を調査し、看板等を設置し注意を促すなど、市民サービス向上に努めました。 ・各イベントについては、八都県市合同防災訓練及び大規模音楽イベントや競技会等を実施し、公園の利用拡大を図りました。 ・運用マニュアル等に基づき、公園利用の手続き及び使用にあたり適正な管理運営を行いました。			
○ 臨海部緑の環境整備 臨海部の魅力づくりや環境改善、景観向上に向け、臨海部の公園・緑地及び街路樹の再生と、事業所による効果的な緑化の誘導を促進します。		●改定緑の基本計画に新たな緑化施策として位置付け ●「（仮称）かわさき臨海の森づくり」共同宣言の検討 ①事業所緑化の推進に向けた基礎調査 ②各地区における事業者との検討会議準備会の開催 など	●「（仮称）かわさき臨海の森づくり」共同宣言に向けた協議・調整 ①事業所緑化の推進に向けた関係者による検討会議設立・地域緑化構想の策定	●地区別緑化計画の策定 ●「（仮称）かわさき臨海の森づくり」共同宣言 ●公園・緑地・街路樹等の環境整備	事業推進
2008年度 実施結果	達成状況区分 3	・基礎調査を実施し、臨海部緑の環境整備基本構想案を作成しました。また、既存関係団体への説明を3回行いました。			
2009年度 実施結果	達成状況区分 3	・臨海部の実情把握のため庁内関係部署と打合せを行い、庁内検討会議を開催しました。また、みどりの事業所推進協議会と協働で事業者の意向の把握に努め、各地区ごとの課題を抽出して緑化構想（地区別）としてまとめるとともに、「かわさき臨海のもりづくり」共同アピールに向けた検討を進めました。			